

# 買い物や移動も支援

オリコンサルら5者 医療MaaS実証開始

オリエンタルコンサルタンツら5者は27日、車両内で医療サービスを提供する「医療MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）」の実証実験を始めた。三重県大台町で車両を使ったオンライン診療、オンライン服薬指導などの医療サービスを提供するほか、生活に必要な買い物や移動を支援する。医療、生活、交通を集約した持続可能な施策の社会実装を目指す。実証期間は2024年1月まで。

実証実験はオリエンタルコンサルタンツ、医療情報プラットフォームなどを提供するMRT（東京都渋谷区、小川智也社長）、ソフトバンクとトヨタ自動車の共同出資会社モネ・テクノロジーズ（東京都千代田区、清水繁宏社長兼最高経営責任者（CEO））、大日本印刷、三重広域連携スーパーシティ推進協議会（久保行央会長）の5者で実施。オリエンタルコンサルタンツは実証実験の運営や事業性検討などを担う。

MRTは内閣府・総務省

・経済産業省・国土交通省が連携して選定する23年度スマートシティ関連事業のうち、経産省「無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業（地域新MaaS創出推進事業）」の実証事業に関わる受託事業者に選定されている。実証実験では公共交通サービスが十分でない中山間

地域で、車両を使った医療サービスの提供と中山間地での地域拠点の形成により、住民負担の軽減や地域のにぎわい創出について検証する。

実証実験を行うのは大台町の中山間地域。多くの住民は家用車で生活圏を移動している。運転免許証を返納する高齢者が増加する中、通院や買い物といった生活に不可欠な活動が制限されることが課題となっている。